

1. 特定本邦航空運送事業者（※）に関する航空輸送サービスに係る情報公開（令和6年10月～令和6年12月）のポイント

※特定本邦事業者

- 日本航空：JAL
- 全日本空輸：ANA
- 日本トランスオーシャン航空：JTA
- スカイマーク：SKY
- AIRDO：ADO

- ソラシド[®] I7：SNJ
- スターフライヤー：SFJ
- Peach Aviation：APJ
- ジェットスター・ジャパン：JJP
- スプリング・ジャパン：SJO（※）

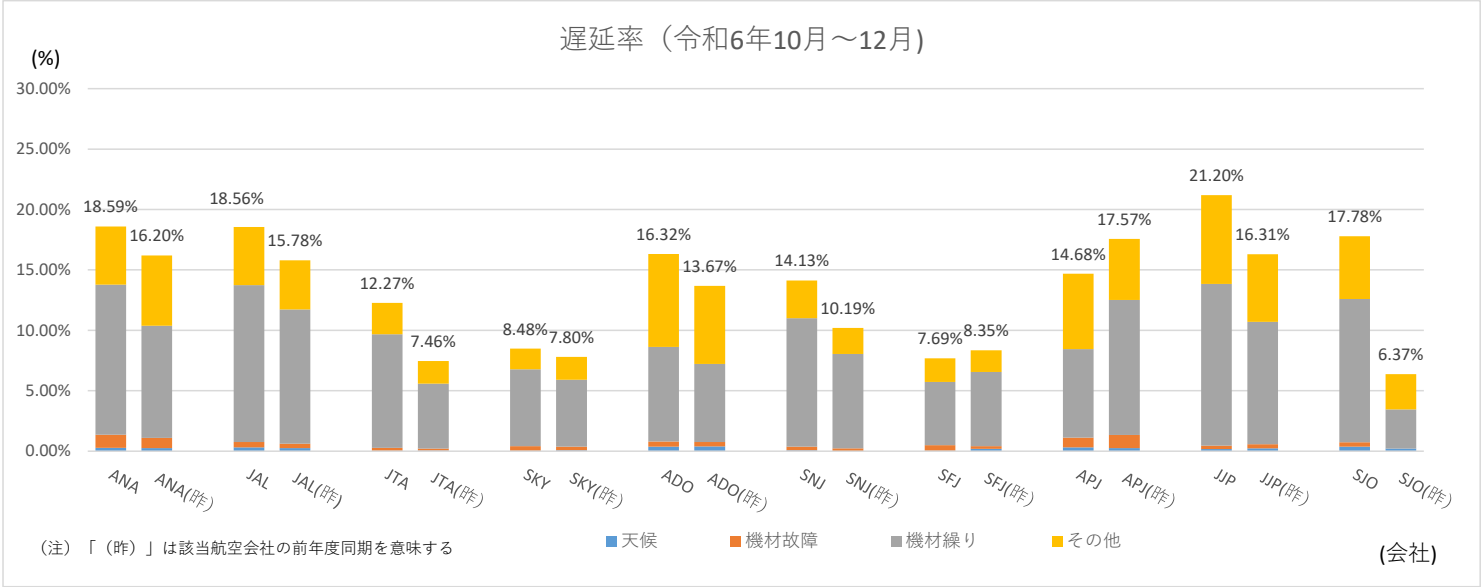
（※）貨物専用路線は除く

1. 輸送サービスの比較等に関する情報

（1）遅延率（出発基準）（令和6年10月～令和6年12月）

当期実績	前年度同期実績	前年度同期との比較
16.94%	14.66%	2.28ポイント増

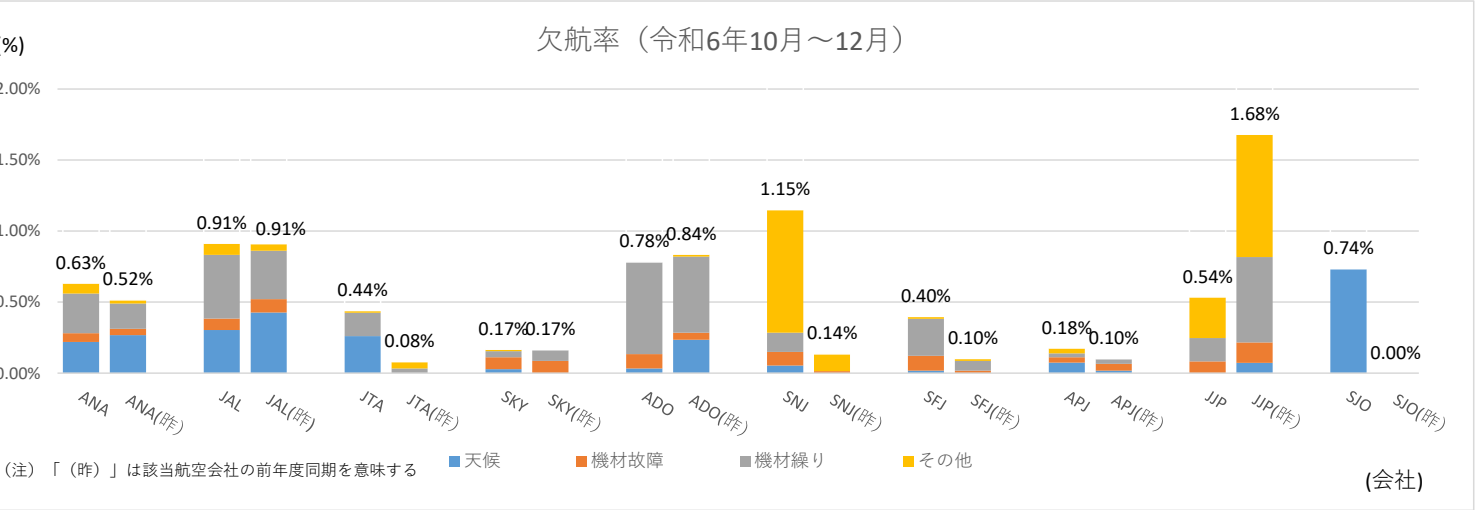
※「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。
（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）
※複数の要因がある場合、もっとも影響の大きい事由に含む。
※機材繰りとは、前便が何らかの理由で遅延運航になり引き続く次便が遅延運航となる場合をいう。

（2）欠航率（令和6年10月～令和6年12月）

当期実績	前年度同期実績	前年度同期との比較
0.68%	0.62%	0.06ポイント増



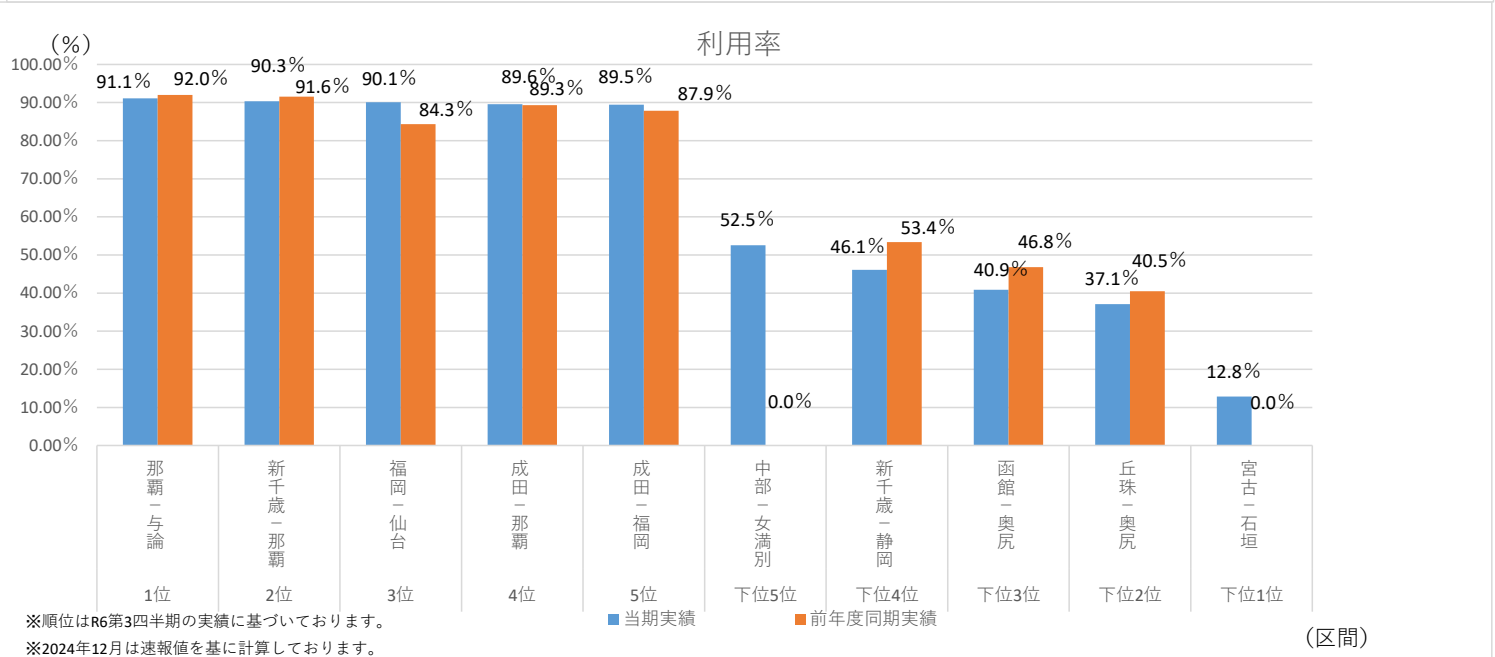
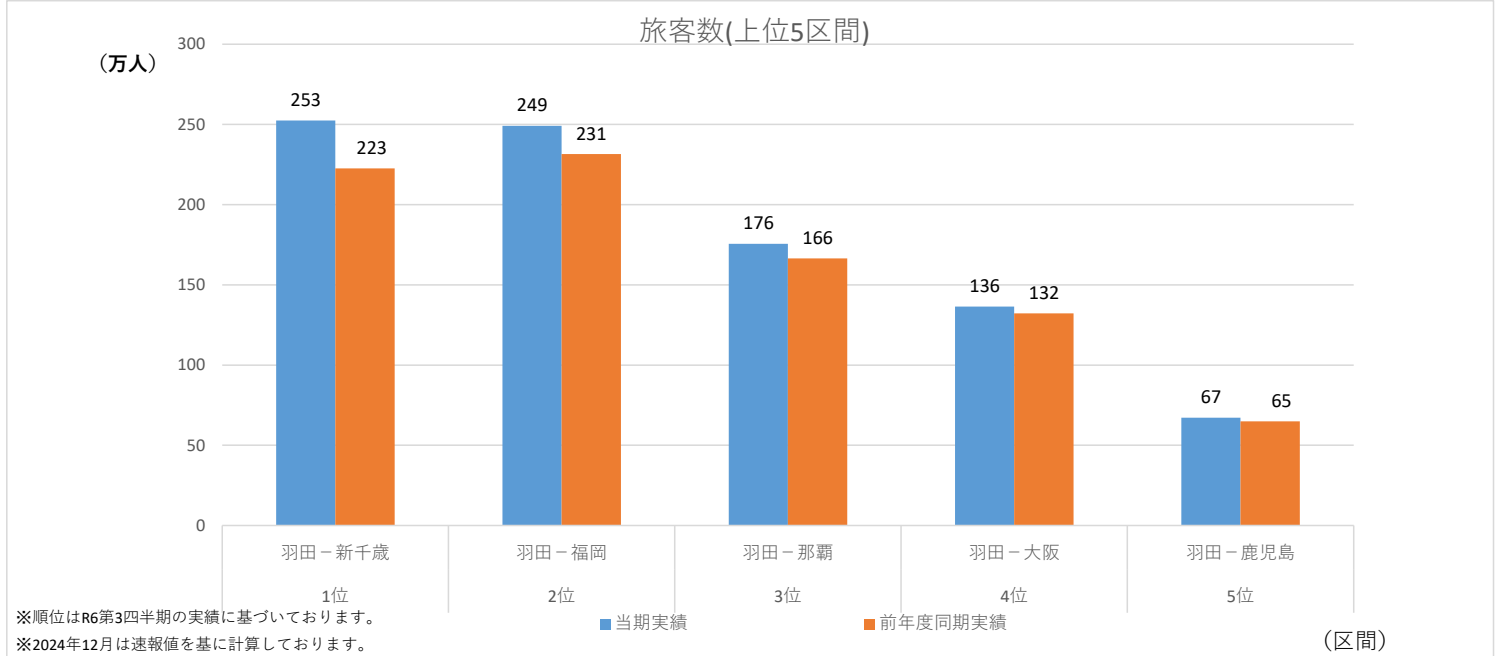
※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。
（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）
※複数の要因がある場合、もっとも影響の大きい事由に含む。
※機材繰りとは、前便が何らかの理由で遅延運航・欠航になり引き続く次便が欠航となる場合をいう。

2. 運賃関連情報

(1) 輸送実績（令和6年10月～令和6年12月）

項目	当期実績	前年度同期実績	前年度同期との比較
平均搭乗区間距離	954km	951km	0.35%増
輸送人員	2763万1213人	2639万7353人	4.67%増
輸送人キロ	263億6718万8千km・人	251億0223万3千km・人	5.04%増
旅客収入	4115億94百万円	3898億11百万円	5.59%増
輸送人員あたり旅客収入	14.9千円/人	14.8千円/人	0.68%増
輸送人キロあたり旅客収入	15.6円/km・人	15.5円/km・人	0.65%増

(2) 路線別データ（令和6年10月～令和6年12月）



※今回の公開項目の詳細、及び過去の公開資料につきましては、国土交通省のホームページ上にてご確認頂けます。

(URL)http://www.mlit.go.jp/koku/15_bf_000727.html